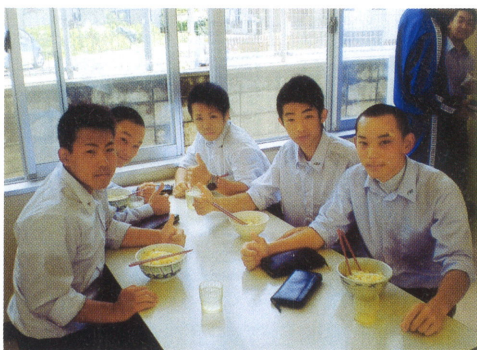


南高百景

憩いの食堂



私が高校生当時の約三十年前、食堂は今と変わらない場所にありました。メニューはうどん(大・小)、ラーメン、カレーライス、サイドメニューとしておにぎり、いなりずし、コロッケがありました。私はお弁当を持ってきていたので、ときどき土曜日(当時)に利用するぐらいで、あまり食堂で食事をしたことはありません。しかし食堂自体にはほとんど毎日行っていました。当時、菓子パンや惣菜パン、ジュース、アイス

「南高百景」も3回目となります。今回は「食堂」を取り上げたいと思います。北グラウンドの東端にある建物が食堂です。ひっそりという風情で建っていますが、扉を開けて一歩中に入ると、多くの生徒たちでにぎわっています。食券を買い、列に並んで注文すると、従業員の方々が笑顔で応えてくれます。そしてトレード席に運んで食べる。どの顔も楽しそうに、そしてリラックスして見えます。授業や学校生活の中で、この空間は生徒たちにとって「癒し」なのでしょう。

現在はメニューも充実しており、A・Bの定食、うどんにラーメン、カレーライスにおにぎり・からあげのセットなど他にもいろいろあります。加えてテイクアウトでできるようにお弁当も用意されています。まさに隔世の感があります。また外にはパン、ジュースの自動販売機も設置されており、勉強に部活動に、また学校活動に頑張る南高生たちの大きな助けになっています。その食堂も

定食	410円	うどん 小	190円	おにぎり 2ヶ	130円
弁当	410円	うどん 大	270円	おにぎりセット	200円
おかず	250円	カレーうどん	270円	コロッケ	70円
カレーライス	330円	ラーメン	310円	ライス大盛り	50円
カツカレー	410円	ラーメン 大	410円	みそ汁	50円
		ザルラーメン	210円		
		ザルラーメン 大	310円		

クリームなどを販売していました。第4時限後に友達とそれらを飲食しながら話したりするのが私の「癒し」でした(食事をする人たちは第3時限後が多く、4時限後は比較的すいていました)。しかし、ふと疑問に思うことがあります。その当時の南高は一年十五クラスあり、加えて専攻科がありました。生徒数で言えば二千八人近かったと思います。しかも食堂の規模や座席数は現在と変わっていません。それにも関わらず、時間内に食べられなかったということはありませんでした。お弁当率が高かったのもあるでしょうし、メニューも限定されていたからなのでしょう。

平成二十六年十月から約半年間、校舎改築の一環として、建て替え工事のために閉鎖していました。(個人的には改築は少し寂しい気もしていましたが、完成してからの食堂は以前とほとんど変わらない、かつての雰囲気を残したものと知り、嬉しく思いました。)そしてその再開を待っていたかのように多くの生徒が訪れ、以前と変わらない活気がよみがえりました。やはりここは南高生にとってのオアシスなのです。

日頃お弁当を持ってきた人でも一度は食堂を訪れたことがあると思います。学校の歴史などを語るとき、食堂にスポットがあたることは少ないです。しかしだれの中にも残る思い出の場所。南高の食堂はそんなところではないかと思えます。今日もお腹をすかせた生徒たちがかけ込んでいます。出迎えてくれるのはたつぷりのご馳走と癒しの空間。これからも南高の食堂は、時を超えて生徒たちに青春のやさしい思い出を与えていくことでしょう。

香友会事務局 亀田 直樹

